



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月7日
東

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所
 コード番号 7224 URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 広報・IR部長 (氏名) 実平 典子 (TEL) 0798-56-5002
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無 (決算説明動画を当社ウェブサイトに掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	209,226	△7.9	10,479	△18.4	11,182	△9.6	5,487	△25.6
2020年3月期	227,231	4.6	12,836	19.9	12,375	18.6	7,378	5.5

(注) 包括利益 2021年3月期 7,726百万円(31.8%) 2020年3月期 5,860百万円(2.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	83.47	—	6.4	5.2	5.0
2020年3月期	113.11	—	8.9	5.8	5.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 299百万円 2020年3月期 454百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	212,060	88,838	41.5	1,337.69
2020年3月期	214,157	83,680	38.7	1,261.64

(参考) 自己資本 2021年3月期 87,945百万円 2020年3月期 82,946百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	18,120	△9,133	△5,972	22,667
2020年3月期	8,509	△12,408	1,419	19,342

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	66.00	—	21.00	87.00	5,683	76.9	6.9
2021年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00	2,498	45.5	2.9
2022年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00		45.4	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	215,000	2.8	9,000	△14.1	9,400	△15.9	5,500	0.2	83.66

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	70,000,000株	2020年3月期	70,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	4,255,653株	2020年3月期	4,254,897株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	65,744,774株	2020年3月期	65,230,855株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	133,825	△10.2	2,799	△49.8	4,269	△34.3	1,320	△67.7
2020年3月期	149,027	△1.3	5,576	25.9	6,501	13.3	4,087	△8.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	20.08	—
2020年3月期	62.66	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	157,920	50,049	31.7	761.27
2020年3月期	162,808	50,676	31.1	770.81

(参考) 自己資本 2021年3月期 50,049百万円 2020年3月期 50,676百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(セグメント情報)	P. 12
(1株当たり情報)	P. 15
(重要な後発事象)	P. 15
4. その他	P. 16
(1) 役員の変動	P. 16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、あらゆる経済活動が制限されるなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、3カ年の中期経営計画の最終年度を迎え、厳しい制約条件の下、当初掲げた諸施策について、可能な範囲で推進してまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い営業及び生産活動が低調に推移した影響により、受注高は199,308百万円(前連結会計年度比10.2%減)、売上高は209,226百万円(同7.9%減)となりました。なお、当連結会計年度末の受注残高は161,686百万円(同6.0%減)であります。

損益面は、営業利益は10,479百万円(同18.4%減)、経常利益は11,182百万円(同9.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は5,487百万円(同25.6%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。

(航空機)

防衛省向けは、受注は減少し、売上は増加いたしました。

また、民需関連は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりボーイング社向け製品の受注及び生産機数が減少したことなどから、受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は13,378百万円(前連結会計年度比56.0%減)、売上高は25,957百万円(同33.4%減)となり、営業損益は808百万円の損失(前連結会計年度は1,551百万円の利益)となりました。

なお、当連結会計年度末の受注残高は28,023百万円(前連結会計年度比31.0%減)であります。

(特装車)

車体等の製造販売は、受注は減少し、売上は前期並みの水準となりました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は94,246百万円(前連結会計年度比6.7%減)、売上高は94,777百万円(同0.2%増)となりましたが、営業利益は6,707百万円(同1.4%減)となりました。

なお、当連結会計年度末の受注残高は60,479百万円(同0.9%減)であります。

(産機・環境システム)

流体製品は、受注、売上ともに増加いたしました。

また、メカトロニクス製品は、自動電線処理機、真空製品、いずれも受注及び売上が減少した結果、分野全体でも受注、売上ともに減少いたしました。

このほか、環境関連事業は、受注は大口の新設案件を受注した前期に比べ減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は36,980百万円(前連結会計年度比13.4%減)、売上高は37,195百万円(同3.1%減)となり、営業利益は2,989百万円(同8.7%増)となりました。

なお、当連結会計年度末の受注残高は20,101百万円(同1.1%減)であります。

(パーキングシステム)

機械式駐車設備は、受注は増加し、売上は減少いたしました。

また、航空旅客搭乗橋も、受注は増加し、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は37,332百万円(前連結会計年度比2.9%増)、売上高は35,228百万円(同6.8%減)となり、営業利益は3,228百万円(同0.2%増)となりました。

なお、当連結会計年度末の受注残高は42,188百万円(同4.4%増)であります。

(その他)

建設事業においては、受注は大口案件の寄与等により増加したものの、売上が減少した結果、当セグメントの受注高は17,371百万円(前連結会計年度比50.9%増)、売上高は16,066百万円(同8.1%減)となり、営業利益は1,445百万円(同21.1%増)となりました。

なお、当連結会計年度末の受注残高は10,893百万円(同13.6%増)であります。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、固定資産は増加したものの、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて2,097百万円減少し212,060百万円となりました。負債は、仕入債務や長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて7,256百万円減少し123,221百万円となりました。純資産は、配当金の支払いはあったものの、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べて5,158百万円増加し88,838百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の38.7%から41.5%に上昇いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ9,610百万円増加し、18,120百万円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益9,009百万円、売上債権の増減額8,676百万円、減価償却費5,768百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の増減額3,226百万円、法人税等の支払額3,310百万円であり、

投資活動の結果支出したキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて3,275百万円減少し、9,133百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出が5,760百万円あったことなどによるものであります。

財務活動の結果支出したキャッシュ・フローは、5,972百万円(前連結会計年度は1,419百万円の収入)となりました。これは配当金の支払いによる支出が2,629百万円、長期借入金の返済による支出が2,452百万円あったことなどによるものであります。

これらの結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は前連結会計年度に比べ、3,324百万円増加し、22,667百万円となりました。

(4) 今後の見通し

次期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、ワクチン接種は開始されたものの、未だ収束の見通しは不透明であり、経済活動の本格的な回復には時間を要するものと考えられます。

こうした中、当社グループは、長期ビジョンの具体化に向けて本日(2021年5月7日)別途公表いたしました新しい中期経営計画に基づき、企業価値の向上に向けた諸施策を着実に実践・遂行してまいります。

なお、次期の業績見通しにつきましては、売上高215,000百万円、営業利益9,000百万円、経常利益9,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益5,500百万円、1株当たり当期純利益83円66銭となる見通しであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の情勢等を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,342	23,045
受取手形及び売掛金	67,223	61,137
電子記録債権	14,532	12,610
商品及び製品	3,808	4,013
仕掛品	18,562	20,304
原材料及び貯蔵品	20,127	18,989
その他	3,932	1,959
貸倒引当金	△71	△55
流動資産合計	147,457	142,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,306	18,567
機械装置及び運搬具(純額)	8,184	8,370
土地	9,573	10,010
建設仮勘定	3,362	460
その他(純額)	1,645	1,904
有形固定資産合計	38,072	39,312
無形固定資産	2,550	2,417
投資その他の資産		
投資有価証券	10,810	12,165
長期貸付金	153	238
退職給付に係る資産	3,245	4,080
繰延税金資産	8,005	7,235
その他	3,894	4,634
貸倒引当金	△32	△28
投資その他の資産合計	26,077	28,325
固定資産合計	66,700	70,055
資産合計	214,157	212,060

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,464	24,383
1年内償還予定の社債	800	800
短期借入金	1,946	2,142
1年内返済予定の長期借入金	2,433	2,527
未払費用	10,722	10,852
未払法人税等	2,366	2,634
役員賞与引当金	225	219
製品保証引当金	2	4
工事損失引当金	3,961	3,395
その他	13,600	12,797
流動負債合計	63,524	59,756
固定負債		
社債	3,200	2,400
長期借入金	49,187	46,669
繰延税金負債	44	84
再評価に係る繰延税金負債	47	47
退職給付に係る負債	12,772	12,828
その他	1,701	1,435
固定負債合計	66,953	63,464
負債合計	130,477	123,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,780	15,780
利益剰余金	58,587	61,445
自己株式	△6,081	△6,082
株主資本合計	84,268	87,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541	1,587
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	△48	139
退職給付に係る調整累計額	△1,439	△530
その他の包括利益累計額合計	△1,322	820
非支配株主持分	734	893
純資産合計	83,680	88,838
負債純資産合計	214,157	212,060

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	227,231	209,226
売上原価	191,727	175,664
売上総利益	35,504	33,561
販売費及び一般管理費	22,668	23,082
営業利益	12,836	10,479
営業外収益		
受取利息	54	58
受取配当金	146	310
持分法による投資利益	454	299
受取賃貸料	44	68
保険配当金	152	156
為替差益	—	86
受取保険金	186	—
その他	154	258
営業外収益合計	1,193	1,238
営業外費用		
支払利息	294	207
売上割引	7	6
為替差損	272	—
休止固定資産費用	80	51
借入手数料	487	48
債権流動化費用	243	81
その他	268	139
営業外費用合計	1,654	535
経常利益	12,375	11,182
特別利益		
固定資産売却益	17	14
投資有価証券売却益	171	184
負ののれん発生益	—	90
特別利益合計	189	288
特別損失		
固定資産売却損	15	—
固定資産処分損	458	646
減損損失	—	1,102
新型コロナウイルス感染症による損失	—	679
関係会社株式評価損	—	33
創業100周年記念費用	918	—
特別損失合計	1,391	2,461
税金等調整前当期純利益	11,173	9,009
法人税、住民税及び事業税	3,538	3,509
法人税等調整額	206	△90
法人税等合計	3,744	3,418
当期純利益	7,428	5,590
非支配株主に帰属する当期純利益	49	103
親会社株主に帰属する当期純利益	7,378	5,487

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	7,428	5,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,409	1,045
為替換算調整勘定	△279	156
退職給付に係る調整額	167	908
持分法適用会社に対する持分相当額	△46	24
その他の包括利益合計	△1,567	2,135
包括利益	5,860	7,726
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,829	7,629
非支配株主に係る包括利益	31	96

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	15,981	15,737	94,992	△44,597	82,113
当期変動額					
剰余金の配当			△6,062		△6,062
親会社株主に帰属する当期純利益			7,378		7,378
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		43		796	840
自己株式の消却			△37,720	37,720	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	43	△36,404	38,516	2,155
当期末残高	15,981	15,780	58,587	△6,081	84,268

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,951	△376	259	△1,607	226	702	83,043
当期変動額							
剰余金の配当							△6,062
親会社株主に帰属する当期純利益							7,378
自己株式の取得							△1
自己株式の処分							840
自己株式の消却							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,409	—	△307	167	△1,549	31	△1,517
当期変動額合計	△1,409	—	△307	167	△1,549	31	637
当期末残高	541	△376	△48	△1,439	△1,322	734	83,680

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	15,981	15,780	58,587	△6,081	84,268
当期変動額					
剰余金の配当			△2,629		△2,629
親会社株主に帰属する当期純利益			5,487		5,487
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,857	△0	2,856
当期末残高	15,981	15,780	61,445	△6,082	87,125

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	541	△376	△48	△1,439	△1,322	734	83,680
当期変動額							
剰余金の配当							△2,629
親会社株主に帰属する当期純利益							5,487
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							—
自己株式の消却							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,045	—	188	908	2,142	159	2,301
当期変動額合計	1,045	—	188	908	2,142	159	5,158
当期末残高	1,587	△376	139	△530	820	893	88,838

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	11,173	9,009
減価償却費	5,442	5,768
減損損失	—	1,102
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	615	512
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	△20
受取利息及び受取配当金	△201	△369
支払利息	294	207
持分法による投資損益 (△は益)	△454	△299
固定資産処分損益 (△は益)	458	646
売上債権の増減額 (△は増加)	△929	8,676
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,296	△169
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,984	△3,226
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△304	△259
その他	1,346	△314
小計	12,169	21,264
利息及び配当金の受取額	224	375
利息の支払額	△266	△210
法人税等の支払額	△3,617	△3,310
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,509	18,120
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△606
定期預金の払戻による収入	1,201	432
有形固定資産の取得による支出	△8,524	△5,760
有形固定資産の売却による収入	105	35
無形固定資産の取得による支出	△706	△610
投資有価証券の取得による支出	△4,807	△1,637
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4	△1,156
その他	327	171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,408	△9,133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	945	184
短期借入金の返済による支出	△48,000	△51
長期借入れによる収入	51,047	—
長期借入金の返済による支出	△226	△2,452
社債の発行による収入	3,962	—
社債の償還による支出	—	△800
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△6,062	△2,629
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△245	△222
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,419	△5,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	47
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,609	3,062
現金及び現金同等物の期首残高	21,952	19,342
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	262
現金及び現金同等物の期末残高	19,342	22,667

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、全社横断的な機能を統括する組織を本社機構とし、事業に直結する生産活動を担う組織については、取り扱う製品等に応じて事業部門として区分し、管理する体制となっております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「航空機事業」、「特装車事業」、「産機・環境システム事業」及び「パーキングシステム事業」の4つを報告セグメントとしております。

「航空機事業」は、飛行艇及び海外航空機メーカー向けの航空機部品を製造・販売しております。

「特装車事業」は、ダンプトラック、テールゲートリフト、塵芥車等の特装車及び林業用機械を製造・販売しております。

「産機・環境システム事業」は、ポンプ、水処理関連製品、自動電線処理機及びごみ処理設備・機器等を製造・販売しております。

「パーキングシステム事業」は、機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋の製造・販売及び保守・改修を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	38,950	94,627	38,370	37,805	209,754	17,476	227,231	—	227,231
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	9	9	57	75	2,490	2,565	△2,565	—
計	38,950	94,636	38,379	37,863	209,830	19,967	229,797	△2,565	227,231
セグメント利益	1,551	6,802	2,748	3,223	14,325	1,193	15,519	△2,683	12,836
セグメント資産	38,020	78,447	37,961	20,055	174,485	24,250	198,735	15,422	214,157
その他の項目									
減価償却費	1,307	2,368	882	527	5,086	187	5,273	168	5,442
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	692	2,905	1,520	384	5,503	683	6,186	913	7,100

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,683百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,700百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
- (2) セグメント資産の調整額15,422百万円には、セグメント間取引消去△26,209百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産41,631百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額913百万円には、セグメント間取引消去△96百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額1,009百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	25,957	94,777	37,195	35,228	193,159	16,066	209,226	—	209,226
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	7	8	55	71	2,374	2,445	△2,445	—
計	25,957	94,785	37,203	35,284	193,231	18,441	211,672	△2,445	209,226
セグメント利益又は 損失(△)	△808	6,707	2,989	3,228	12,117	1,445	13,562	△3,083	10,479
セグメント資産	33,515	76,735	38,860	20,651	169,763	25,151	194,915	17,145	212,060
その他の項目									
減価償却費	1,147	2,473	960	574	5,156	217	5,373	395	5,768
減損損失	—	—	—	1,102	1,102	—	1,102	—	1,102
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	607	2,668	1,575	1,151	6,002	205	6,207	2,997	9,205

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,083百万円には、セグメント間取引消去△25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,058百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
- (2) セグメント資産の調整額17,145百万円には、セグメント間取引消去△28,677百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産45,822百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2,997百万円には、セグメント間取引消去△90百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額3,088百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,261円64銭	1,337円69銭
1株当たり当期純利益	113円11銭	83円47銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,378	5,487
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	7,378	5,487
普通株式の期中平均株式数(株)	65,230,855	65,744,774

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

(2021年6月24日付変動予定)

(1) 代表者の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動

①新任取締役候補

該当事項はありません。

②退任予定取締役

該当事項はありません。

③新任監査役候補

監査役(常勤) 島坂 忠宏 [新明和アクアテクサービス株式会社 取締役社長]

④退任予定監査役

該当事項はありません。

[] 内には現職を記載しています。